

II 国語

正答表並びに採点上の注意

(令和三年度)

問三					
(カ)	(オ)	(エ)	(ウ)	(イ)	(ア)
2	1	3	4	3	2
4点	4点	4点	4点	4点	4点

問二			
(エ)	(ウ)	(イ)	(ア)
4	3	1	2
4点	4点	4点	4点

問一									
(エ)	(ウ)	(イ)				(ア)			
		d	c	b	a	4	3	2	1
4	1	4	3	1	2	と (げる)	せきべつ	しょうあく	あいさつ
2点	2点	2点	2点	2点	2点	2点	2点	2点	2点

問五																																									
(イ)	(ア)																																								
<p>と考えられます。 という効果がある</p> <table border="1"> <tr> <td>つ</td><td>題</td><td>め</td><td>量</td><td>化</td><td>少</td><td>消</td><td>エ</td> </tr> <tr> <td>な</td><td>の</td><td>、</td><td>も</td><td>炭</td><td>し</td><td>費</td><td>ネ</td> </tr> <tr> <td>が</td><td>解</td><td>環</td><td>減</td><td>素</td><td>、</td><td>量</td><td>ル</td> </tr> <tr> <td>る</td><td>決</td><td>境</td><td>る</td><td>排</td><td>二</td><td>が</td><td>ギ</td> </tr> <tr> <td>に</td><td>に</td><td>問</td><td>た</td><td>出</td><td>酸</td><td>減</td><td>ー</td> </tr> </table> <p>40</p>	つ	題	め	量	化	少	消	エ	な	の	、	も	炭	し	費	ネ	が	解	環	減	素	、	量	ル	る	決	境	る	排	二	が	ギ	に	に	問	た	出	酸	減	ー	<p>モーダルシフトを 進めていくと、</p> <p>2</p>
つ	題	め	量	化	少	消	エ																																		
な	の	、	も	炭	し	費	ネ																																		
が	解	環	減	素	、	量	ル																																		
る	決	境	る	排	二	が	ギ																																		
に	に	問	た	出	酸	減	ー																																		
6点	4点																																								

(イ)は正答例。

問四									
(ク)	(キ)	(カ)	(オ)		(エ)	(ウ)	(イ)	(ア)	
			II	I					
3	4	2	位置関係	個々の要素の	知りたい情報	4	1	1	3
4点	4点	4点	4点 <small>できて両方</small>		4点	4点	4点	2点	

採点上の注意

【問題全般について】

- 中間点は、問五(イ)以外には設けないこと。
- 疑問点は複数の採点者及び点検者によって判断し、校内で統一すること。
- 誤字・脱字(句読点に係る誤りを含む)の判断については、校内で統一すること。

【抜き出し問題について】

- 完全正答とする。誤字・脱字については減点対象とはせず、誤答とする。

【中間点のある記述問題について】

- 正答例以外であっても、与えられた条件をすべて満たし、問題の趣旨に即した文ならば、正答として六点を与える。
- 内容については、中間点を設けないこと。
- 誤字・脱字(句読点に係る誤りを含む)については、その数にかかわらず二点減点とする。
- 表現に問題があり、それによって明らかに問題の趣旨から外れている、内容を読みとることができない等の場合は、誤答とする。ただし、許容できると判断した場合は、その数にかかわらず二点減点とする。表現の問題については、複数の採点者及び点検者によって判断し、校内で統一すること。
- 中間点は、誤字・脱字(句読点に係る誤りを含む)がある場合と表現に問題がある場合の減点以外は設けないこと。したがって、中間点は四点または二点となる。
- 指定語句がある場合、その語句が含まれていない解答は誤答とする。また、指定語句がそのまま書かれていない場合(漢字表記をひらがな表記にしたもの等)や指定語句の誤り(誤字・脱字)についても誤答とする。

○ 問五(イ)について

・ 指定語句は「環境問題」である。

得点項目A 内容については、次の三点に触れていること。

- (あ) 「エネルギー消費量が減少すること」。
- (い) 「二酸化炭素排出量が減少すること」。
- (う) (あ)と(い)が「環境問題の解決につながる」こと。

〈正答例〉

モーターシフトを進めていくと、
二酸化炭素排出量やエネルギー消費量が減少するため、**環境問題**の解決につながる
という効果があると考えられます。 30

モーターシフトを進めていくと、
エネルギーを効率よく消費でき、二酸化炭素の排出量が減るので、**環境問題**解決に役立つ
という効果があると考えられます。 30

モーターシフトを進めていくと、
環境問題の解決に向け、エネルギー消費量や二酸化炭素排出量を**抑える**ことができる
という効果があると考えられます。 30